

亜細亜大学

令和4年度「データサイエンス副専攻」

点検・評価報告書

亜細亜大学 内部質保証評価委員会

令和5年2月8日作成

令和4年度「データサイエンス副専攻」点検・評価報告書

内部質保証評価委員会

委員長 永綱 憲悟

1. 点検・評価の実施

亜細亜大学データサイエンス教育委員会が実施主体となり、令和4年度のデータサイエンス副専攻に関連する授業科目の自己点検・評価を行った。

2. 点検・評価の対象

令和4年度の授業科目の点検・評価を対象とした。また、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱細目」（令和3年2月24日制定）に基づき、亜細亜大学データサイエンス副専攻の開講した授業科目の「履修・修得状況」、「学修成果」、「学生アンケートに基づく学生の内容の理解度」、「他の学生への推奨度」、「全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況」を対象とした。

3. 評価結果について

以下の評価レベルで判定した。

【評価レベル】

- A 『優れた点』があり、十分に行われている。
- B 概ね行われており、相応である。
- C 改善の必要がある。

4. 内部質保証評価委員会の評価結果

【評価レベルA】

『優れた点』があり、十分に行われていると判断する。
修了者の状況を分析いただきたい。

5. 亜細亜大学データサイエンス教育委員会による自己点検・評価結果

(1) 授業科目の点検・評価

点検項目	点検結果	評価結果
教育プログラムのディプロマポリシー（DP）を定め、これに沿って教育プログラムの科目を配置し、カリキュラムを構築しているか。	データサイエンス副専攻（以下「教育プログラム」という）のディプロマポリシー（DP）として「副専攻修了証授与方針」を定め、教育プログラムのウェブページで学内及び社会に対して公開している。3項目からなるディプロマポリシー（DP）をさらに8項目のDP項目に細分化し、これらカバーするように教育プログラム科目を配置し、カリキュラムを構築している。 (参考資料「副専攻修了証授与方針」)	教育プログラムのディプロマポリシー（DP）を定め、インターネットを通じて公開し、これに沿って教育プログラムのカリキュラムを構築しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)
教育プログラムのカリキュラムマップを作成し、学生・教員が学修効果・教育効果を確認できるようにしているか。	前項のディプロマポリシー（DP）を細分化した8項目のDP項目と、教育プログラム科目の対応関係をカリキュラムマップとして整理し、教育プログラムのウェブページで学内及び社会に対して公開している。学生はこれを参照して各自の学修の進捗を把握することができ、また教員はこれを教育効果の把握とカリキュラム改善に活用することができるようにしている。また、カリキュラムマップに基づき学習成果を可視化するシステムの構築を進めた。	教育プログラムのディプロマポリシーと教育プログラム科目の対応をカリキュラムマップとして整理し、インターネットを通じて公開し、学生及び教員が活用できるようにしており、基準を満たしている。 (評価レベル A)
教育プログラム科目の「学修目標」、「成績評価方法等」を各科目のシラバスに記載しているか。	本学の全科目でシラバスに「学修目標」及び「成績評価方法等」を記載することが義務付けられており、教育プログラム科目のシラバスにおいても記載を行っている。	教育プログラムの全科目のシラバスで「学修目標」及び「成績評価方法等」を記載しており、基準を満たしている。(評価レベル B)
教育プログラム科目のシラバスであらかじめ開示した成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	本学の全科目でシラバスの「成績評価方法等」の欄に、平常点、授業回毎の小テスト、授業回毎の課題、最終課題、期末試験等の項目別に成績評価への寄与をパーセント単位で記載することが義務付けられており、教育プログラム科目のシラバスにおいても記載を行っている。また教育プログラムの各科目でこれにしたがった成績評価を実施している。	教育プログラムの全科目のシラバスで「成績評価基準等」を記載し、これにしたがって成績評価を実施しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)

学修成果の評価に用いた課題・問題等の文書は学生・教員が閲覧可能な状態で保存されているか。	教育プログラム科目のほぼすべてで LMS (manaba, Google Classroom) を活用して授業を行っており、これらの科目では課題の出題・提出・採点も LMS 上で行っている。これらの課題の問題文等は、課題の提出・採点後も学生・教員が閲覧可能な状態で保存されている。	教育プログラムのほぼすべての科目で LMS (manaba, Google Classroom) を使用し、課題・問題文等が保存されており基準を満たしている。 (評価レベル B)
学修成果の評価に用いた課題の答案等はできるだけ返却しているか。	教育プログラム科目のほぼすべてで LMS (manaba, Google Classroom) を活用して授業を行っており、これらの科目では課題の出題・提出・採点も LMS 上で行っている。これらの課題の答案は、採点後に採点結果とともに学生が閲覧可能な状態となり、事後学修に利用されている。	教育プログラムのほぼすべての科目で LMS (manaba, Google Classroom) を使用し、答案が学生に返却されており基準を満たしている。 (評価レベル B)

(2) 教育プログラムの点検・評価

点検項目	点検結果	評価結果
教育プログラムの履修・修得状況・学修成果を確認できているか。	令和4年度は、4年生100名、3年生129名、2年生165名、1年生94名が登録している。また、令和3年度末には初めて13名の修了者が出た。履修状況から令和4年度末は修了者が増加する見込みである。	教育プログラムの履修・習得状況を確認できており、また教育プログラムの修了条件を満たす修了者が出ており基準を満たしている。 (評価レベル B)
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画を実施し、進捗状況を確認できているか。	5カ年の履修者数向上計画を策定した他、「亜細亜大学データサイエンス大賞」を制定しデータサイエンス関連資格取得者に対して報奨金を授与するなどの施策を実施している。(参考資料「亜細亜大学データサイエンス大賞報奨金規程」「亜細亜大学データサイエンス大賞基準表」)	5カ年の履修者数向上計画を示し、これを実現するための施策も実施しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)
学生アンケートに基づく学生の理解度・他の学生への推奨度を確認できているか。	令和4年度後期の学生アンケート結果から、学生の理解度を集計中である。また、教育プログラムの「他の学生への推奨度」などの項目を含む教育プログラム独自のアンケートを実施し、結果を集計中である。	全学対象のアンケートの結果から、教育プログラム科目の理解度を確認している。また教育プログラム履修者を対象とするアンケートから「他の学生への推奨度」を確認しており基準を満たしている。 (評価レベル B)

<p>教育プログラムが示すモデルカリキュラムとの対応を確認できているか。</p>	<p>教育プログラムを構成する14科目の令和4年度シラバスを確認し、本学学生が広く興味を持つ内容であるとともに、モデルカリキュラムの「導入・基礎・心得」の5項目に加え、「選択」の内容もカバーしていることを確認した。</p>	<p>教育プログラムを構成する科目のシラバスとモデルカリキュラムの対応を確認し、「導入・基礎・心得」に加え、「選択」の内容を含むことも確認しており、十分に基準を満たしている。 (評価レベル A)</p>
<p>教育プログラム修了者の進路・活躍状況を確認できているか。</p>	<p>令和3年度末に初めて13名の修了者が出た。現在これらの修了者の進路・活躍状況に関する情報を収集中である。</p>	<p>教育プログラムの初めての修了者の進路の情報を収集中であり、基準を満たしている。 (評価レベル B)</p>
<p>教育プログラムの点検・評価結果をインターネット等を通じて公開しているか。</p>	<p>教育プログラムの「点検・評価報告書」を、以下の教育プログラムのウェブページで公開している。 https://www.asia-u.ac.jp/academics/minor/1/</p>	<p>教育プログラムの点検・評価を実施し、その結果を教育プログラムのウェブページで公開しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)</p>